

2015年4月1日

各位

水戸証券株式会社

『グリーンボンド』の販売について

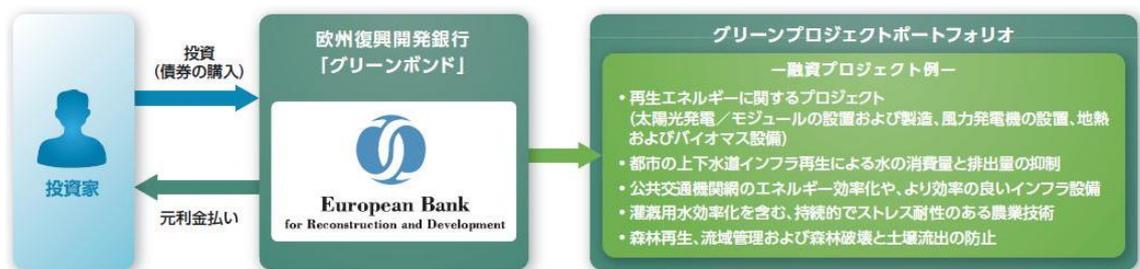
水戸証券株式会社（本社：東京都中央区、代表者：取締役社長 真殿修治）（以下、水戸証券）は、欧州復興開発銀行※（以下、EBRD）が発行する『グリーンボンド』の販売を2015年3月に引き続き、本日2015年4月1日よりインドネシアルピア建債券で販売いたします。

EBRDの『グリーンボンド』は、EBRDのファイナンス対象国における官民両セクターの環境プロジェクトを支援する目的で発行される債券で、環境に資するとともに持続可能な解決策に投資する機会をお客さまに提供するものです。今回、水戸証券が販売する『グリーンボンド』は、“欧州復興開発銀行2019年4月24日満期（約4年債）インドネシアルピア建円貨決済債券”です。

水戸証券は、『グリーンボンド』の販売を通じて、ご購入いただくお客さまとともに、環境にやさしい経済・社会の発展に貢献してまいります。

【今回の『グリーンボンド』の仕組み】

- ▶ 投資家は、EBRDが発行する「グリーンボンド」に投資し、EBRDから元利金を受け取ります。
- ▶ グリーンボンドで調達された資金は、同債券の発行体であるEBRDの審査基準に基づいて選定される「グリーンプロジェクトポートフォリオ」に充当されます。
- ▶ 「グリーンプロジェクトポートフォリオ」とは、EBRDの決定に従い、エネルギー効率、クリーンエネルギー、水資源の管理、廃棄物の管理、持続性のある生活、環境サービスおよび持続的な公共交通機関といった事業に対してEBRDが一部または全部の資金提供者として行った貸付けや出資の総計を意味しています。
- ▶ EBRDは持続可能な環境プロジェクトのサポートを行いたいという投資家様の増加に応えるべくグリーンボンドの発行を2010年に開始しました。この債券は、EBRDと同じ信用力に投資しながら、EBRDが活動を行う国での公的、私的セクターでの環境ソリューションへの投資機会を提供します。



※欧州復興開発銀行について

欧州復興開発銀行（EBRD：European Bank for Reconstruction and Development）は、中東欧諸国における市場指向型経済への移行並びに民間及び企業家の自発的活動を支援するため、1991年に設立された国際金融機関です。世界64カ国（日本含む）及び欧州連合と欧州投資銀行が出資をしており、EBRDの現在の支援対象国は、中東欧の旧社会主義国及び旧ソ連構成国など30カ国以上です。市場経済化・民営化を進めるための民間部門に対する投融資及び技術支援等を中心に業務を行っています。

以上